



【市長】「付加価値」を見出しどう活かすか
 【市長】 このまちに住んでいると当たり前になつてしまうことが、実は宝であると再認識し、ここに住んでいることに誇りを持つことが大事だと思っています。「プライド」は、沼津市のまちづくりにかかせないキーワードです。
 【神成】 私たちアオイパークも、生産者のプライドを守り、地域農業の付加価値を高めることが重要な役割のひとつです。そのためにオープンイノベーションという手法を使っているんです。
 【市長】 「付加価値」を見出しどう活か

【市長】 沼津は海や山などの豊かな自然に囲まれ、食べ物も美味しく気候も温暖で過ごしやすい。周りには日本一深い駿河湾や世界文化遺産の富士山、国際的観光地である箱根や伊豆まで揃っています。こうした資源に恵まれていることは、沼津の魅力であり宝です。
 【神成】 そうですね。その宝をちゃんと理解して、プライドを持つことが大切です。
 【市長】 このまちに住んでいると当たり前になつてしまうことが、実は宝であると再認識し、ここに住んでいることに誇りを持つことが大事だと思っています。「プライド」は、沼津市のまちづくりにかかせないキーワードです。
 【神成】 私たちアオイパークも、生産者のプライドを守り、地域農業の付加価値を高めることが重要な役割のひとつです。そのためにオープンイノベーションという手法を使っているんです。
 【市長】 「付加価値」を見出しどう活か

やがてなる発展を目指して

【市長】 例え、事業を始めた人が、専門家が集まる場で活用法まで含めたリノベーションプランなどをプレゼンテーションして、アドバイスをもらう場を提供しています。市が助成をして、実際に事業化したものもあるんです。
 【神成】 具体的にはどういった取り組みをしているのですか。
 【市長】 はい。市が進める個人や民間企業が主導となるまちづくりの中で、市内のにぎわい創出を目指している事業があります。
 【神成】 具体的にはどういった取り組みをしているのですか。
 【市長】 はい。市が進める個人や民間企業が主導となるまちづくりの中で、市内のにぎわい創出を目指している事業があります。

【市長】 今から30年程前の沼津は、県東部地区の中心として商業施設や交通機能など、様々なものが集まっていた。特に沼津駅南口周辺は「おまち」と呼ばれ栄えていたが、近年は空き店舗や空き家が増えているんです。
 【神成】 約30年前というと、ちょうど私が高校生の頃です。当時の沼津を思い出すと懐かしいですね。今、まちの中心のにぎわいが減ってしまっているというのは寂しく思います。なにか対策はあるのでしょうか。
 【市長】 はい。市が進める個人や民間企業が主導となるまちづくりの中で、市内のにぎわい創出を目指している事業があります。



【市長】 今日の話のキーワードである「プライド」と「付加価値」を、これからのまちづくりにより一層活かしていきたいです。沼津市をさらに発展させるため、一生懸命取り組みます。本日は誠にありがとうございました。

【市長】 新しいことを始めたい人にとって、大きなチャンスですね。
 【市長】 そうなんです。こうした事業などを活用して、沼津にUターンして起業した人もいます。
 【神成】 それはすごいですね。さらにオープンイノベーションで起業後の展開を考え、市がその情報を蓄積し共有することで、後に続く人へのノウハウになるのではないのでしょうか。
 【市長】 なるほど、オープンイノベーションで一歩先を見据えるんですね。
 【神成】 そうです。せっかくだから地元出身者以外も呼び込みたいですね。

【市長】 令和3年は、沼津市のまちづくりの方針を示す、第5次沼津市総合計画がスタートします。「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」を将来都市像とし、市民の皆さんと一緒に、誇り高い沼津を目指していきたいです。
 【神成】 市長の沼津愛と様々な取り組みの話聞いて、今後の沼津が楽しみになりました。私たちアオイパークにできることとして、沼津の農業に新たな付加価値を付けて、地域がプライドを持つてさらに発展するお手伝いができたらと、改めて思いました。
 【市長】 心強い言葉を頂きありがとうございます。農業を含め、地域の基盤産業である第一次産業が強固になると、地域全体が活性化すると思っています。
 【神成】 それぞれの専門を活かし、ともに発展していけるように、これからお互い頑張っていきたいと思います。

していくかをオープンイノベーションで話し合う。神成先生の話から、まちづくりのヒントを教えてください。
 【神成】 オープンイノベーションは多様性がありコラボが生まれやすい。他の地域にはない魅力が生まれれば、市全体の発展につながりますよ。
 【市長】 令和3年は、沼津市のまちづくりの方針を示す、第5次沼津市総合計画がスタートします。「人・まち・自然が調和し、躍動するまち」を将来都市像とし、市民の皆さんと一緒に、誇り高い沼津を目指していきたいです。
 【神成】 市長の沼津愛と様々な取り組みの話聞いて、今後の沼津が楽しみになりました。私たちアオイパークにできることとして、沼津の農業に新たな付加価値を付けて、地域がプライドを持つてさらに発展するお手伝いができたらと、改めて思いました。
 【市長】 心強い言葉を頂きありがとうございます。農業を含め、地域の基盤産業である第一次産業が強固になると、地域全体が活性化すると思っています。
 【神成】 それぞれの専門を活かし、ともに発展していけるように、これからお互い頑張っていきたいと思います。



上段：古民家をリノベーションして生まれたドライブフラワー店(左)と宿泊施設。遊休不動産に新たな価値が生まれました。中段：小学生が地域の農畜産物に親しむ食育DAY キャンプ。アオイパークで先端農業について学びました。下段：アオイパークと実験装置。沼津で先端農業の研究とビジネス推進が進んでいます。

沼津は首都圏からも近く便利です。よね
 【市長】 第2の居住地として休日や地方で過ごす週末市民は、ワーケーションにつながる可能性もありそうです。
 【神成】 沼津でのチャンスや未来を模索しながら地域のコミュニティに参加して、多くの情報を得ることができれば、移住へのハードルも低くなると思います。
 【市長】 場の提供とオープンイノベーションで可能性が広がります。これからも、県東部の中心という誇りを保ちながら、新たな価値をつくっていくことに取り組んでいきます。

